

街の資源発信委員会 事業計画

委員長 吉村 正彦

私たちが住み暮らす故郷は、魅力溢れる日本屈指のパワースポットとして知られる名峰・筑波山が北部に位置し、自然豊かな土壌に恵まれております。さらには、つくばエクスプレスの開通に伴い街の急速な発展や人口増加が日に日に進んでおります。しかし、地域間格差やコミュニケーション不足による閉塞感漂う現状が見受けられます。そこで私たちが問題点を提起し真剣に考えて行動を起こし、地域の活性化に取り組む必要があります。

まずは、健康増進や環境保全・地域の観光を促進するために、今年で8回目を迎えます「ツール・ド・つくば」を開催し、大会を通して筑波山周辺の活性化、自然や農産物、多様な資源・地域の宝の魅力を活かし素晴らしい発見・再発見を体感していただきます。そして、「自転車のまちつくば」であるつくばを伝播させるために、つくばの地にて自転車競技を始めた先駆けとしての誇りを持ち、自転車マナーの向上や自転車競技の魅力向上にも力を注ぐと共に、これまでの積み上げられた実績と経験を生かし最大限に進化させ参加希望者を増やします。さらに、豊かな自然と土壌から育ったつくばの味覚と農産物を味わい知っていただくために、食を通し笑顔と喜びが溢れる地産地消を目指して地域の活性化に繋げて参ります。そして、今以上に大会発展を目指すために、これまでの経験実績を踏まえながら関係諸団体との交流を深めると共に、地域の発展に貢献致します。さらに、将来の「ツール・ド・つくば」のあり方について模索するために、事業終了後は、検証・引継ぎ及び解りやすくマニュアル更新を行い、継続事業を飛躍させるための人財育成をします。

責任世代の私たちが、意識改革するため挑戦を続ける事で変化をもたらし、地域に必要とされる人材へと成長します。地域活性化の本質を見極め歩み一人ひとりが失敗を恐れず思い切ってやり遂げることで、魅力的な組織へと変化を遂げ未来のつくばを動かすのです。

〔事業計画〕

1. ツール・ド・つくば2016の開催
2. 開催後の検証、事業マニュアルの更新及び引継ぎ
3. 継続事業を飛躍させるための人財育成
4. 将来のツール・ド・つくばのあり方の模索
5. 会員拡大と会員交流